行政視察報告書　　広報広聴委員会　　　2018年8月6日(月)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　11番　石井通春

|  |  |
| --- | --- |
| 視察先 | 埼玉県戸田市 |
| 研修テーマ（調査項目） | 市議会モニター制度 |
| 1. 取組の内容評価   ・議会運営に対し市民から意見を頂くためにモニター制度を導入した（例年10月頃募集）平成23年度から実施している。  ・本会議、委員会の傍聴から、議会だよりや議会HPに対する意見を提案してもらう   1. 今後の課題   ・平成27年度は31件（過去分も含めて）の意見があったが、執行部に対する意見や要望が多く見受けられた。  ・また、日ごろに議員活動が見えない、政務活動費を減らしたらどうかなど、議会に根付いた具体的な提言だけではなく、  ・やはり公募だけでは集まらない。（15名程度を予定しているが毎年5名前後で推移）   1. 本市に反映できると思われる点   （以下はモニターから出された点で前進した面や検討するとした面）  ・市議会だよりに全市の地図を掲載し、市民の関心が高い予算着け箇所を一覧で見れるようにしたのは、大きな反響があったとの事。  ・議員による出前講座の実施、視察の委員長報告に対し戸田との相違点を報告する事、委員会の録画公開や日曜議会開催など　いずれも広報広聴委員会での検討事項としている  ・市議会だよりが全てカラー印刷となっていて、見やすい。担当者は予算的にそんなに違いはないとの事であったが、本市も検討してみたらどうか（相見積もり等で）   1. その他   ・新宿から20分という地で、若い世帯を中心とした居住者が多く、住民の政治参加意識が低い（投票率も３０％程度）。町内会参加率も低く、自然と市議会だよりの配布対象も狭まっている状況があった。  その中で、市民の市議会への参加を促すには同じ形でいいのだろうか。（大学、高校が多くあるという地の利を生かした取り組みはないものかと感じた） | |